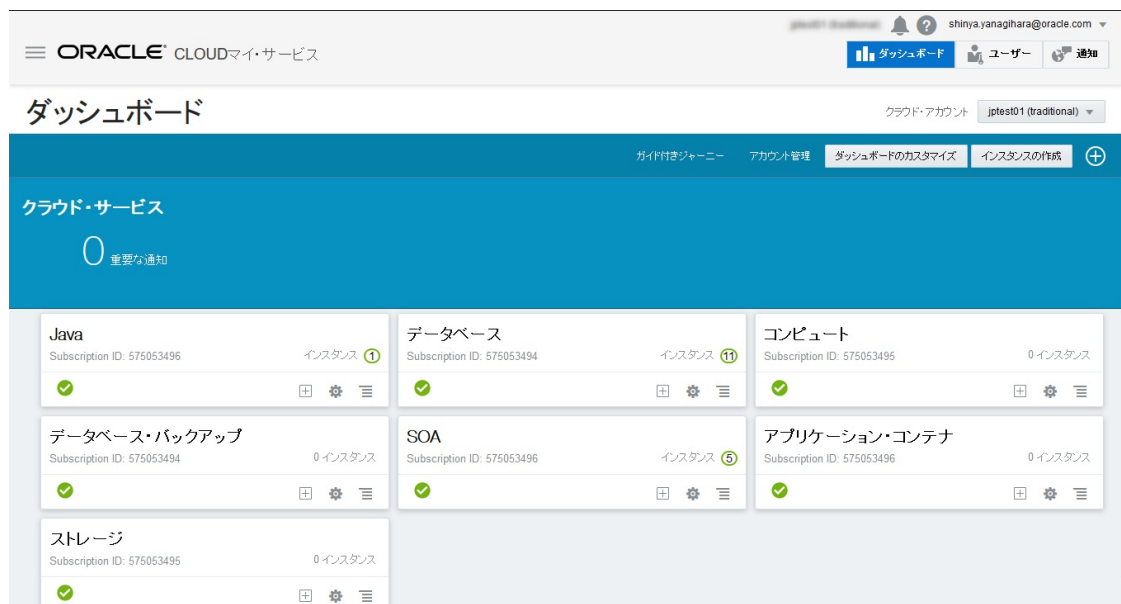


Oracle Java Cloud Service 環境作成

1. Oracle Cloud ダッシュボード画面の表示



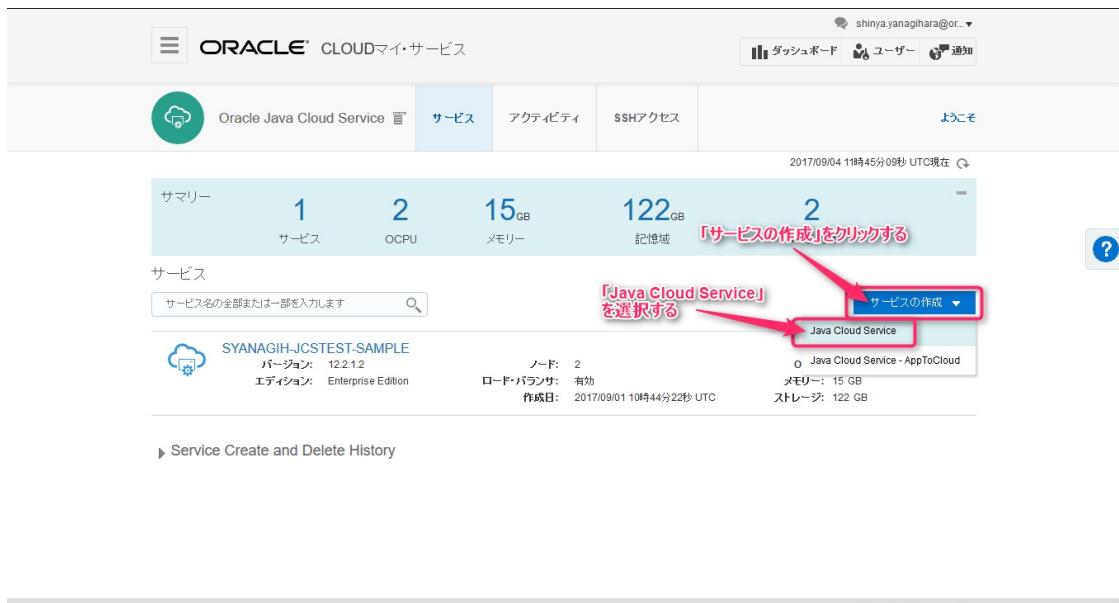
Oracle Cloud で利用可能な各種クラウドサービスを一覧表示しています。このダッシュボード画面から、各クラウドサービスのサービスコンソール画面を表示して利用します。

2. Oracle Java Cloud Service サービスコンソール画面の表示



カード表示されている各クラウドサービスから、データベースのメニューを選択します。そして、表示される選択肢から「サービス・コンソールを開く」を選択します。

3. サービスコンソール画面からサービス・インスタンスを作成



Oracle Java Cloud Service のサービスコンソール画面が表示されます。ここで表示される「サービスの作成」をクリックします。すると、プルダウンメニューが展開し以下の選択肢が表示されます。

- Java Cloud Service
- Java Cloud Service - AppToCloud

この中から **Java Cloud Service** を選択します。

4. サービスインスタンスの情報を入力

ORACLE® CLOUDマイ・サービス shinya.yanagihara@or...

新規 Oracle Java Cloud Service のプロビジョニング
Create Service

取消 Service Details Confirm

「次」をクリックする

12.1.3 を選択する

Service
Provide basic service instance information.

* サービス名 JCSSample ⓘ

説明 ⓘ

Notification Email shinya.yanagihara@oracle.cc ⓘ

* Service Level Oracle Java Cloud Service ⓘ

* Software Release Oracle WebLogic Server 12c, 12.1.3 ⓘ

* Software Edition Enterprise Edition ⓘ

* Metering Frequency Monthly ⓘ

項目	入力値	備考
サービス名	JCSSample	Java Cloud Service のインスタンス名
説明		
Notification Email	自分のメールアドレス	通知宛先用のメールアドレス
Service Level	Oracle Java Cloud Service	サービスのタイプ
請求頻度	月	
Software Release	Oracle WebLogic Server 12c, 12.1.3.0	以下から選択 11g, 11.1.1.7 12c, 12.1.3.0 12c, 12.2.1.2
ソフトウェア・エディション	Enterprise Edition	以下から選択 Standard Edition Enterprise Edition Enterprise Edition with Coherence
Metering Frequency	Monthly	以下から選択 Hourly Monthly

5. WebLogic Serverの構成情報を入力

ORACLE[®] CLOUDマイ・サービス

shinya.yanagihara@ot...

新規Oracle Java Cloud Serviceのプロビジョニング

Create Service

ServiceDetailsConfirm

次

サービス詳細

Provide details for this Oracle Java Cloud Service instance.

「編集」をクリックする

Selection Summary

サービス構成

OC3 - 1.0 OCPU, 7.5 GB RAM

編集

SSH公開鍵

Cluster Size

WebLogic

Local Administrative Username

weblogic

パスワード

パスワードの確認

Advanced Settings

データベース構成

Oracle必須スキーマの場合

名前

アプリケーションスキーマの場合

追加

ロード・バランサ

ロード・バランサのプロビジョニング

バックアップおよびリカバリ構成

バックアップの保存先

クラウドストレージおよびブロックストレージ

クラウドストレージ・コンテナ

クラウドストレージ・ユーザー名

クラウドストレージ・パスワード

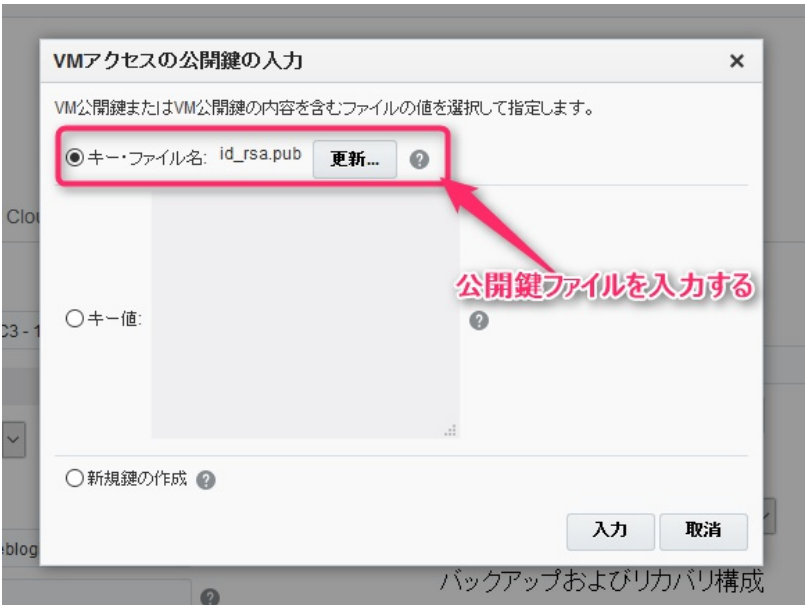
クラウドストレージ・コンテナの作成

サービス構成

項目	入力値	備考
コンピュート・シェイプ	OC3 - 1.0 OCPU, 7.5 GB RAM	
SSH公開鍵	下記リンク先にある公開鍵ファイルを使用	コンピュートノードにアクセスする際に使用する鍵ペア
Cluster Size	1	以下から選択 1 2 4

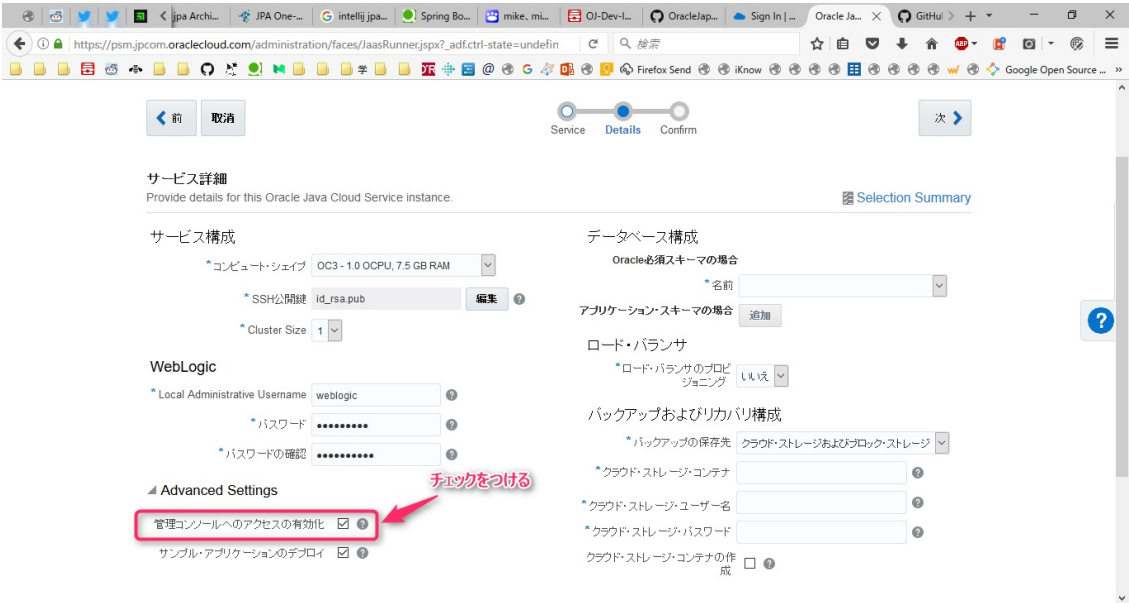
SSH公開鍵フィールドの右側にある「編集」をクリックし、下記ファイルを選択する:

- 公開鍵ファイル



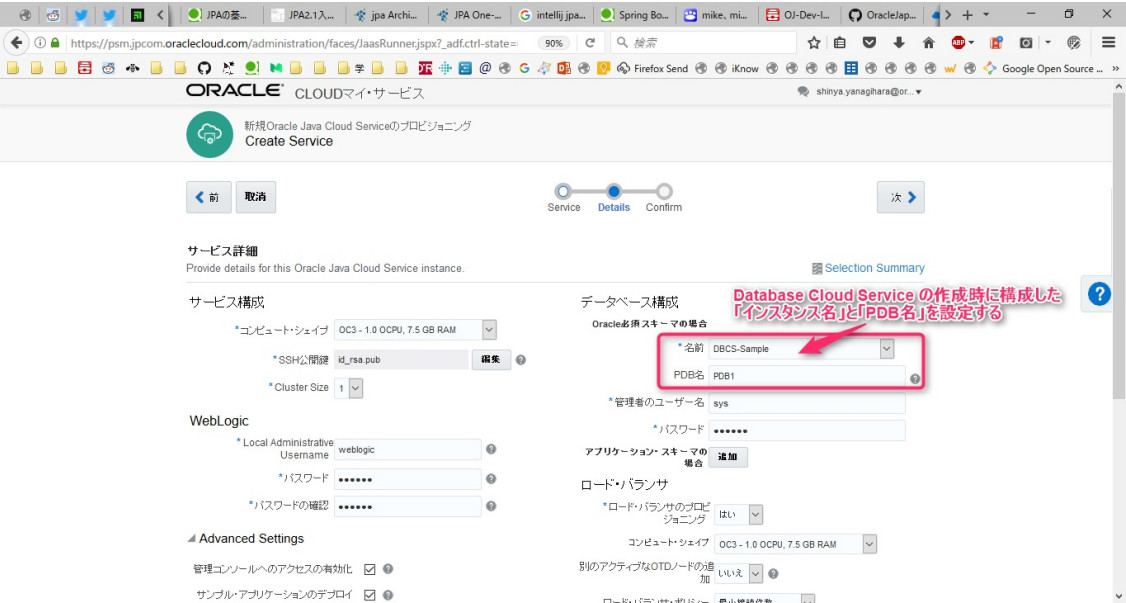
キーファイル名の選択フィールドで、上記ファイルを選択する。又は、キー値に上記ファイル内に記載される文字列を記述する。

WebLogic



項目	入力値	備考
Local Administrative Username	weblogic	WebLogic 管理者ユーザID
パスワード	Welcome1#	WebLogic 管理者パスワード
パスワードの確認	Welcome1#	
管理コンソールへのアクセスの有効化	チェック	管理コンソールアクセスポート(7002)の有効化
サンプル・アプリケーションのデプロイ	チェック	

データベース構成



項目	入力値	備考
名前	DBCS-Sample	Oracle Database Cloud Service 環境作成の手順で作成したDBCSインスタンス名
PDB名	PDB1	
管理者のユーザー名	sys	
パスワード	Welcome1#	

ロード・バランサ

サービス詳細

Provide details for this Oracle Java Cloud Service instance.

Selection Summary

サービス構成

コンピュータ・シェイプ

OC3 - 1.0 OCPU, 7.5 GB RAM

SSH公開鍵

id_rsa.pub

編集

Cluster Size

1

WebLogic

Local Administrative Username

weblogic

パスワード

パスワードの確認

Advanced Settings

管理コンソールへのアクセスの有効化

☒

サンプル・アプリケーションのデプロイ

☒

データベース構成

Oracleお預スキーマの場合

名前

DBCS-Sample

PDB名

PDB1

管理者のユーザー名

sys

パスワード

アプリケーション・スキーマの場合

追加

ロード・バランサ

ロード・バランサのプロビジョニング

はい

コンピュータ・シェイプ

OC3 - 1.0 OCPU, 7.5 GB RAM

別のアクティブなOTDノードの追加

いいえ

ロード・バランサ・ポリシー

最小接続件数

バックアップおよびリカバリ構成

バックアップの保存先

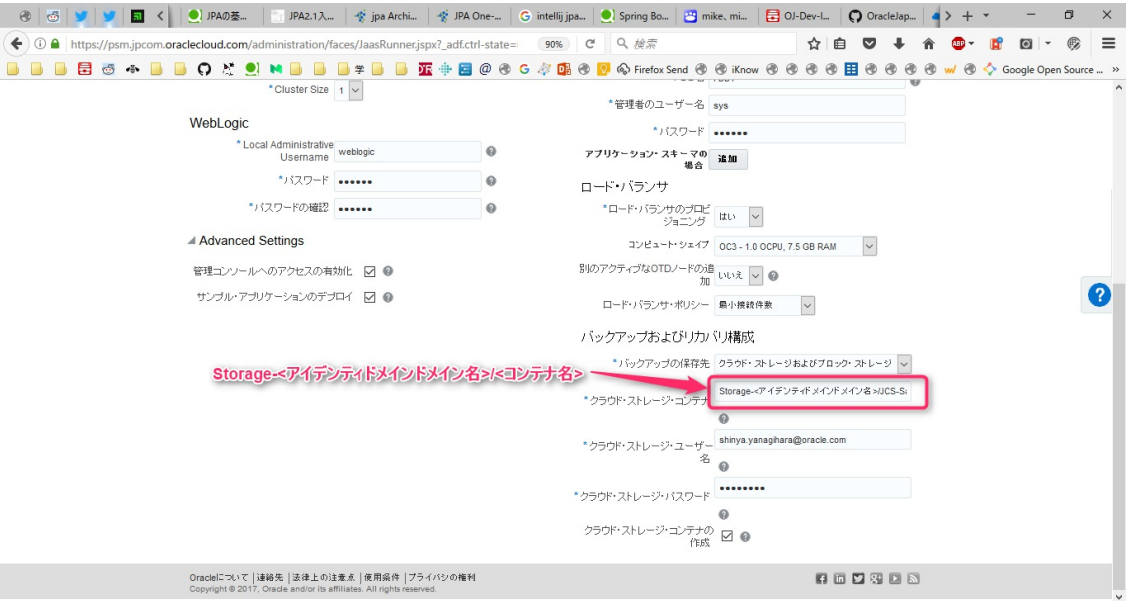
クラウド・ストレージおよびブロック・ストレージ

クラウド・ストレージ・コンテナ

クラウド・ストレージ・ユーザー名

項目	入力値	備考
ロード・バランサのプロビジョニング	はい	
コンピュータ・シェイプ	OC3 - 1.0 OCPU, 7.5 GB RAM	
別のアクティブなOTDノードの追加	いいえ	
ロード・バランサ・ポリシー	最小接続件数	

バックアップおよびリカバリ構成



項目	入力値	備考
バックアップの保存先	クラウド・ストレージおよびブロック・ストレージ	
クラウド・ストレージ・コンテナ	Storage- <アイデンティティドメインドメイン名>/JCS-Sample-CS	
クラウド・ストレージ・ユーザー名	自分のログインID	
クラウド・ストレージ・パスワード	自分のログインパスワード	
クラウド・ストレージ・コンテナの作成	チェック	

以上の内容を入力した後、画面右上部の「次」をクリックします。

6. 入力内容の確認及びインスタンスの作成実施

ORACLE CLOUDマイサービス shinya.yanagihara@or...

新規Oracle Java Cloud Serviceのプロビジョニング
Create Service

Service Details Confirm

「作成」をクリックする

作成

Cloud Storage Container Storage: JCS-Sample-CS created.

確認
Confirm your selections and create your service.

Service	データベースの詳細
サービス名: JCSample	データベース: DBCS-Sample
サービスレベル: Oracle Java Cloud Service	PDB名: PDB1
リリース: Oracle WebLogic Server 12c, 12.1.3.0	管理者のユーザー名: sys
エディション: Enterprise Edition	
請求頻度: Monthly	

サービス詳細	ロード・バランサ
ロード・バランサのデプロイ: あり	ロード・バランサのデプロイ: あり
ロード・バランサのポリシー: 最小接続数	ロード・バランサのポリシー: 最小接続数
コンピュート・シェイプ: OC3 - 1.0 OCPU, 7.5 GB RAM	コンピュート・シェイプ: OC3 - 1.0 OCPU, 7.5 GB RAM
キー: id_rsa.pub	別のアクティブなOTDノードの追加: いいえ
Cluster Size: 1	

WebLogic	バックアップとリカバリの詳細
Local Administrative Username: weblogic	クラウドストレージ・コンテナ: Storage: JCS-Sample-CS
管理コンソールの有効化: あり	クラウドストレージ・ユーザー名: shinya.yanagihara@oracle.com
サンプル・アプリケーションのデプロイ: あり	

Notification

確認画面で入力内容に特に問題がない場合は、「作成」をクリックします。